



EMO データ集約システム

(Excel Marge system 0: zero) ; イー・エム・ゼロ

株式会社 ネクスト・ディベロップメント

All Right Reserved. Copyright (c) 2014-2017, Next Development, Ltd.

・ Excel は、米国及びその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

本書は、「データ集約システム」(Excel Marge sisystem 0:イー・エム・ゼロ)の利用方法について説明します。

0. はじめに

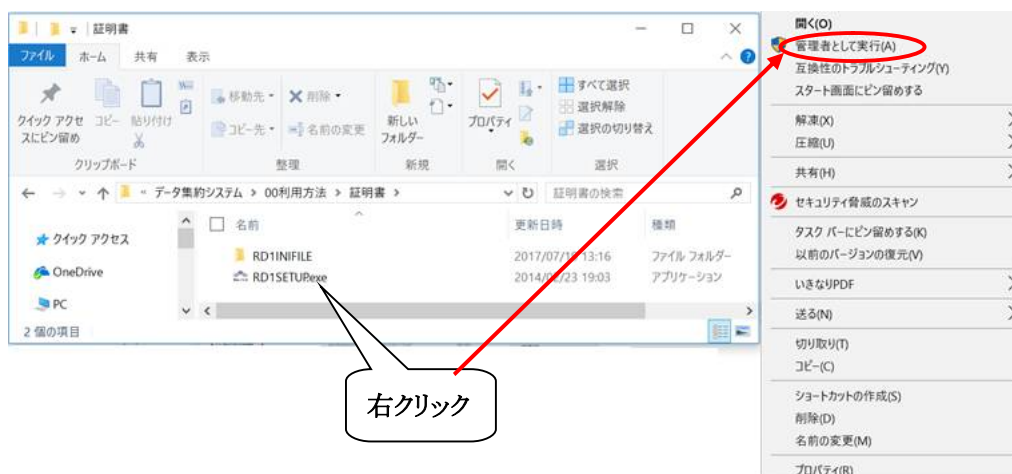
EM0システムは、集約 EXCEL フォーマット(「.xlsm」または「.xlsx」)を「2 集約フォーマット」に登録しておく必要があります。集約結果は、「9 集約結果」、集約定義は「1 集約定義」に作成されます。



なお、システムを利用するには「データ集約システム.xlsm」をダブルクリックしてください。



また、本システムを利用する管理者には EXCEL 証明書の設定が必要です。(最初の一回だけ)「00 利用方法」-「1 証明書」のフォルダを開き、RD1SETUP.exe を管理者権限(マウスで右クリック)で実行すると「EXCEL 証明書」が Windows に設定されます。



== 注意事項 ==

(重要) 提供された最上位のフォルダ名称は自由に変更できますが、内部のフォルダ名称は変更しないでください。

1. データ集約システム概要

データ集約システムは、集約定義に従い集約元E X C E Lシートのデータを集約先E X C E Lシートに集約します。本システムの実行には集約定義を事前に準備しておく必要があります。

この集約定義のパターンを管理することにより、多種多様なE X C E Lシートのデータ集約を繰り返し実行することができます。

例えば、毎月の「各人の勤務票」を「勤務表一覧」に集約することができます。

データ集約システムの概要を図1－1に示します。

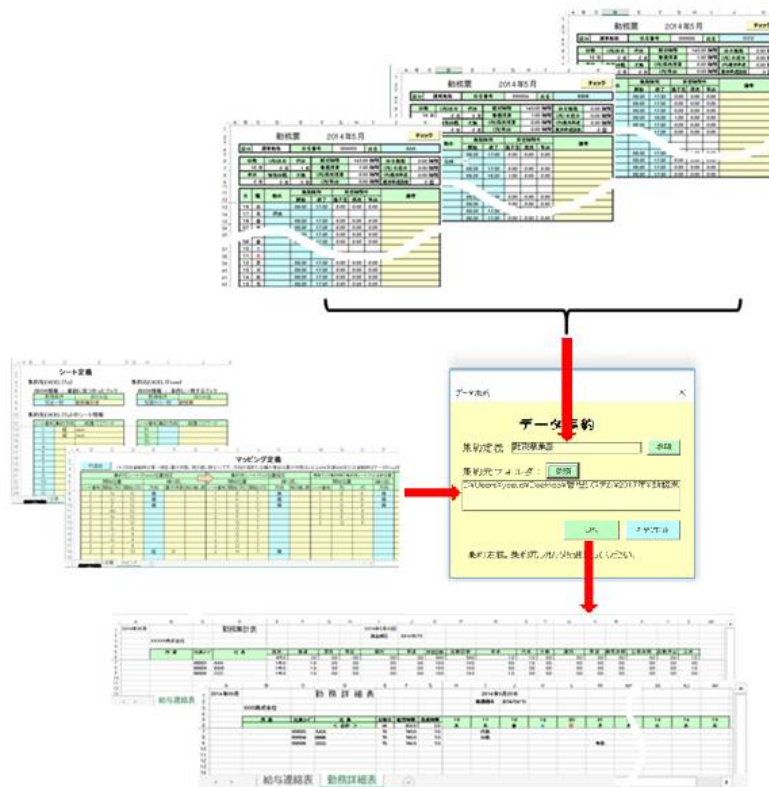


図1－1 データ集約システムの概要

2. システムの利用開始

データ集約システムの「ライセンス情報」より利用開始します。

2-1. ライセンス情報

データ集約システムのライセンス情報ボタンを押下すると、「ライセンス情報」画面が表示され、ライセンス状況が表示されます。

- (1) ライセンス情報の「利用登録・確認」ボタンを押下すると、「利用申し込み・確認」画面が表示されます。事業者情報を入力し、各ボタンを押下します。

「試使用開始」ボタン : 3 か月間の試使用ができます。

「利用申し込み」ボタン : 押下で利用申し込みメールが起動されますので、送信してください。
なお、利用申し込みすると状態が「利用申し込み中」になり事業者名は変更できません。

「更新」ボタン : 事業者情報が更新されます。

- (2) ライセンス情報の「ライセンス証登録」ボタンを押下すると、ファイルを開く画面が表示されます。送付されたライセンス証を選択し、登録します。

3. 集約定義の作成

3-1. 集約定義作成

データ集約システムの「集約定義作成」ボタンを押下すると、「集約定義作成」画面が表示されます。作成定義名を入力し、OKボタンを押下すると「1 集約定義」フォルダに「NNNN.xlsm」(NNNN：入力した作成定義名。なお、NNNNには空白を含まないでください。)の集約定義が作成されます。なお、「作成した定義を開く」をチェックすると作成した集約定義を開きます。

3-2. 集約定義EXCEL

集約定義EXCELには「シート定義」と「マッピング」シートがあります。終了する場合は必ず「×」を押下（チェックされます）して格納してください。

(1) シート定義

集約元EXCELおよび集約先EXCELは最大99シートまでです。
シート定義のフォーマットを図3-1に示します。

(a) 集約先EXCEL (To)の指定・・・1ブックが対象

(i) BOOK名：集約先元EXCELのBOOK名を指定します。

(b) 集約元EXCEL (From)の指定・・・複数ブックが対象

(i) BOOK名：集約先EXCELのBOOK名を指定します。

(ii) 取得条件（以下）

- 完全一致：拡張子を除きEXCEL名が一致したEXCELが対象
- 先頭から一致：指定のEXCEL名が先頭から一致したEXCELが対象
- 最終から一致：指定のEXCEL名が最終から一致したEXCELが対象
- 部分一致：指定のEXCEL名が含まれるEXCELが対象

(c) 集約先EXCEL (To)のシート情報の指定

(i) 集約方向：複数の集約元EXCELを集約する方向（「縦」／「横」）を指定します。

(ii) 保護パスワード：集約結果を格納するシートに保護パスワードを設定している場合は、保護解除のためのパスワードを指定してください。なお、シートが存在しない、あるいは保護をしていない場合は指定しない(null)でください。

シート定義

【集約定義名：勤務票集計】

集約先EXCEL(To)

集約元EXCEL(From)

BOOK情報：

取得条件	BOOK名
完全一致	勤務票集計表

BOOK情報：条件に一致するブック

取得条件	BOOK名
部分一致	勤務票

集約先EXCEL(To)のシート情報

シート番号	集約方向	保護パスワード
1	縦	next
2	縦	next
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

集約元EXCEL(From)のシート情報

シート番号	集約方向	保護パスワード
51		
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		
61		
62		

*) 取得条件に一致するEXCELを読み込みます。なお、集約先EXCELは、最初に見つかったEXCELになります。

なお、集約先BOOK名の拡張子は「xlsm」「xlsx」です。拡張子を除いて入力します。

*) EXCELの1BOOKは99シート以内です。

*) 集約元EXCELは条件に一致するEXCELをすべて集約します。複数ある場合は集約先EXCELのシート情報に集約方向を指定してください。

*) パスワードは集約先EXCELのシートが保護されている場合、保護解除用にパスワードを指定してください。（解除できない場合はエラーになります）

図3-1 シート定義のフォーマット

(2) マッピング

マッピングは、集約元 E X C E L の集約データと集約先 E X C E L のデータの位置, および集計の合計位置を指定します。図 3-2 にマッピングのフォーマットを示します。

(a) 集約元シート(From)の位置指定

- (i) 開始位置 : データの取得セルを指定します。繰り返しデータの場合はその開始位置を指定します。シート番号, セル位置 (列・行は A 1 形式) を指定します。
- (ii) 繰り返し : 単一項目の場合は指定しません。繰り返しデータの場合は、繰り返しの方向 (縦/横), 最大件数 (998 件以内, null の場合はセルデータが null でないデータまでの最大位置), 飛び越し数 (2~999, null の場合は隣) を指定します。

(b) 集約先シート(To)の位置指定

- (i) 開始位置 : データの書込セルを指定します。繰り返しデータの場合はその開始位置を指定します。シート番号, セル位置 (列・行は A 1 形式) を指定します。
- (ii) 繰り返し : 単一項目の場合は指定しません。繰り返しデータの場合は、繰り返しの方向 (縦/横), 飛び越し数 (2~999, null の場合は隣) を指定します。なお、最大件数は集約元シートのデータ件数です。

(c) 複数ブック集約時の集約先シート(To)の合計位置指定

- (i) 開始位置 : 合計のセルを指定します。繰り返しデータの場合はその開始位置を指定します。シート番号, セル位置 (列・行は A 1 形式) を指定します。
- (ii) 繰り返し : 単一項目の場合は指定しません。繰り返しデータの場合は、繰り返しの方向 (縦/横) を指定します。なお、数字でない場合あるいは合計を集計しない場合は指定しません。

マッピング定義													
行追加		集約元シート(From) 位置指定						集約先シート(To) 位置指定					
		開始位置		繰り返し				開始位置		繰り返し			
シート番号	開始(列)	開始(行)	方向	最大件数	飛び越し数	シート番号	開始(列)	開始(行)	方向	飛び越し数	シート番号	開始(列)	開始(行)
2	N	12	横			1	E	7	横		1	E	6
2	U	12	横			1	K	7	横		1	K	6
2	Z	12	横			1	O	7	横		1	O	6
2	AA	12				2	E	7			2	E	6
2	N	12				2	F	7			2	F	6
2	O	12				2	G	7			2	G	6
2	G	4				1	C	7					
2	J	4				1	D	7					
2	G	4				2	C	7					
2	J	4				2	D	7					
2	D	13	縦	31		2	H	7	横				

図 3-2 マッピングのフォーマット

なお、指定行数が少ない場合は「行追加」ボタンを押下して行を追加してください。

4. 集約実行

データ集約を実施する前に、集約結果のEXCELフォーマットを「1 集約定義」フォルダに登録する必要があります。なお、登録するEXCELファイル名は空白を含まないでください。また、登録できるEXCELの拡張子は「.xslm」「.xlsx」です。

4. 1 データ集約の実行

データ集約システムの「データ集約」ボタンを押下すると、「データ集約」画面が表示されます。利用する集約定義と集約元のEXCELのフォルダを指定します。「参照」ボタンを押下するとWindowsのファイルを開く画面が表示されますので、選択してOKボタンを押下します。集約結果は、「9 集約結果」フォルダに格納されます。

なお、集約元のEXCELのファイル名は空白を含まないでください。また、登録できるEXCELの拡張子は「.xls」「.xslm」「.xlsx」です。